

茎数過剰！

栄養不足になる危険があります！

- ・ 茎数が過剰なため、今後は「葉色が急に淡くなり」栄養不足による品質低下が心配されます。
- ・ 出穂期は「平年より1日程度早い」と予想され、5月10日植えのコシヒカリで、8月6日頃と予想されます。

1 6月30日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場9地点の平均、移植日の平均：5月6日)

●葉数は目標値並みですが、茎数が非常に多くなっています。

区分	本年値	前年値 (前年比・差)	目標値 (カインダ [®] -生育目標値比・差)
草丈(cm)	53	51 (104%)	49 (107%)
茎数(本/m ²)	612	640 (97%)	500 (122%)
葉数(葉)	10.0	10.2 (-0.2)	10.0 (±0.0)
葉色	SPAD値	38.3	40.2 (-1.9)
	葉色板	3.9	4.3 (-0.4)

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 茎数過剰のほ場は、出穂期30日前まで中干しを継続しましょう。
- (2) 中干し直後は浅水の間断かん水を行い、徐々に飽水管理に移行しましょう。
- (3) 登熟期の高温に備え、ケイ酸質資材を速やかに施用しましょう。
- (4) ほ場毎の生育差が大きいので、幼穂や下位節間の伸長状況を早めに観察し、穂肥の準備をしておきましょう。

3 その他の管理ポイント

- (1) 早生品種は、まもなく幼穂形成期となります。分施肥体系の場合は、幼穂長を確認し1回目の穂肥を遅れずに施用しましょう。
- (2) 葉色が濃いほ場や、いもち病が発生しやすい品種では、遅れず防除しましょう。
- (3) 作業時は、水分補給や休憩をこまめにとりましょう。